

市民の声

『○○部落』を『○○町内会』の
名称に改めるべきである

Q 広報等には『○○部落』という活字が見受けられます。私は、この際『町内会』の名称に改めるべきだと思います。町村であればともかく、躍進途上にある南国市にとってふさわしくない名称だと思っています。南国市は県副都市でもあり、また、二十一世紀に向かってイメージアップをするためにも名称の改称は必要だと思います。市行政側および皆様のご意見を頂ければ幸いです。

(式地秀男・大桶)

A 基本的に自治組織をどう呼ぶのかについては、その自治組織が決めることで、市は関与していません。南国市は、市街化の進んだ地域からそうでない地域まで様々な集落があります。また、住居表示の進んでいない地域も多くあります。

小学校改築に伴う

私たちが老夫婦で細々と生活

このページは市民の皆さんが作るページです。どんなことでも結構です。お気軽に皆さんの「声」をお寄せください。
あて先は、南国市広報委員会（〒783 南国市大桶甲一三〇一）です。

要は、自治組織がその地域の実態にふさわしい名称を決めればよいのではないのでしょうか。
(企画課)



寄付について

をいたしているものについても一世帯当たり二万円という高額の寄付の割当てが来ています。よう出さないといいまして「子、孫が世話になっていくし、今は南国市に居なくても、また帰ってくる時もあるきに」と言っているのが集めに来るので仕方なしに寄付をしました。こんなことがありますか。
(一市民)

池禎章先生の句碑建立

昭和三十一年より、岩村 続いて忍冬、花婿の三句会の仲間が、師としてご指導を受けてきた南国市金地の池禎章先生の傘寿を記念して、このたび句碑を建立した。
本年の四月より準備を始め、俳人を含めた各階層よりご芳志をいただき、氏神である土佐山田町神通寺の、神奈地神社の境内の一隅で、十月十九日に除幕式を挙行した。
表面は、池禎章先生自筆の、俳歴六十一年の魂の結晶と思われ「響くほど大きな花の秋ざくら」。

第6回南国ビデオ

コンテスト

入賞発表

第6回南国ビデオコンテスト入賞者は次の方々です。

- ◎ やまもも賞 学校給食会「手作りみそ」
- ◎ オナガドリ賞 澤田幸宏「シラサギを追って」
- ◎ 岡豊城賞 田島睦夫「秋葉祭がやってきた」
- ◎ 土佐日記賞 福岡正志「字をおぼえて夕焼けが美しいー識字学級を訪ねてー」
- ◎ たちばな賞 源三知男「燃え上がれー火火ほのおー」
- ◎ まほろば賞 野口賢「楽しいやすらぎ会」
- ◎ えんこう賞 笠井秀人「たのしい運動会」

